

地域づくり新戦略 自治体格差時代を生き抜く

片木淳、藤井浩司、森治郎編（一藝社・1995年）

03・5312・8890

地域格差は大きな政治課題だ。そんな中、2年間にわたり、ソフトとハードの両面から、地域再生に取り組んできた早稲田大学メディア文化研究所が提言をまとめた。

執筆メンバーは行政、マスコミ出身を含む研究者をはじめ、内閣府や自治体、シンクタンクの地域問題担当者など多彩で、地方が主役の地域づくりに具体的な提案をしている。

例えば、移転を含む空間的再編を伴う都市の縮小による行政インフラの見直し▽効果のある地域ブランドの作り方▽小樽市の手工業職人を例にとった人的ネットワークづくりの実践——などを紹介している。

メディアについても「地域問題を伝えるだけ」の姿勢を脱し、公共的存在という観点から積極的に地域貢献する必要性が示される。（彰）